

議会だより

No. 77

令和6年11月10日

わかわか



栃木県那珂川町

テーマ(まなび)

高校生の声を聞く



5番 片岡 光



6番 桑野 琴音

主な内容

- | | |
|-------------------|-----------|
| 9月定例会等の結果 | (2P~5P) |
| ここが聞きたい！ 一般質問(7人) | (6P~12P) |
| 視察受け入れ | (13P) |
| 議会・委員会のうごき | (14P~15P) |
| キラリ☆まちおこし・編集後記 | (16P) |

令和5年度 各会計決算

決算審査特別委員会(議員全員)で審査

空き家対策など6項目に意見

令和6年第6回那珂川町議会定例会は、9月3日に開会し、会期を18日までの16日間と定め、一般質問(7名)のほか、人事案件、令和6年度補正予算の審議などを行いました。

令和5年度各会計決算については、議員全員による決算審査特別委員会を設置して、8会計すべての審査を行いました。

今期定例会には、報告2件、議案14件、認定8件が上程され、全ての議案を可決しました。

◆定例会の主な日程◆

- 9月3日(火) 一般質問(矢後紀夫議員、大金清議員、小川正典議員、神場圭司議員)
- 9月4日(水) 一般質問(益子純恵議員、高野泉議員、川俣義雅議員)、常任委員会
- 9月5日(木) 議案審議、決算審査特別委員会設置、常任委員会
- 9月6日(金) 決算審査特別委員会(議員全員)※13日まで
- 9月18日(水) 令和5年度各会計歳入歳出決算の認定、請願審査報告、議案審議 ほか

事業の成果 評価・検証を

- ① 町の施策については、各種計画を策定して事業に取り組んでいるが、計画で位置づけた指標や事業の結果に対する検証が不十分であることから、行政評価の導入も含め効果的なPDCAサイクルの運用に努めること。
- ② 空き家バンクについては、利用希望者登録数に対する物件登録数が不足していることから、物件の掘り起こしなど、積極的な情報収集に努められたい。
- ③ ふるさと納税について、自主財源が少ない当町においては必要不可欠な財源であることから、町のホームページや観光案内などとも連携した情報発信に努めること。
- ④ 公共交通確保対策事業においては、デマンド交通や路線バスの利用者が減少していることから、利用者の増加に向けた対策を講じられたい。
- ⑤ イノシシ肉加工事業においては、イノシシ肉の需要と供給のバランスに配慮しつつ、雇用の確保や町の特産品の維持につながる取り組みを継続されたい。
- ⑥ 児童生徒の不登校が増加していることから、校内教育支援センターの設置など、引き続き、安心して教育が受けられる学習機会の確保に努められたい。

◆付帯意見とは…◆

審査結果の報告と併せて、予算執行等における委員会としての重要意見を付したものを。

決算審査特別委員会



議員全員による決算審査特別委員会の様子

9月定例会において、令和5年度各会計決算の認定が上程され、議員全員を委員とする決算審査特別委員会を設置して、6日から13日までの6日間にわたり審査を行いました。(委員長・大金清議員、副委員長・高野泉議員)

特別委員会では、担当課の説明をもとに、町税や地方交付税などの収入状況のほか、町の事務事業の執行状況などについて質疑をもとに審査を行いました。

◆令和5年度一般会計歳入歳出決算

一般会計における歳入歳出の決算状況については、歳入総額は前年度から9億6420万9234円増の105億1899万7492円となりました。また、歳出総額は前年度から9億3863万4498円増の94億5468万9756円となりました。

【主な歳入】

◆地方交付税 37億3000万円

◆町税 19億6490万円

◆繰入金 13億5253万円

◆国庫支出金 8億1897万円

【主な歳出】

◆民生費 25億2767万円

(低所得者世帯物価高騰支援給付金、社会福祉事業、認定こども園の運営、母子福祉 など)

◆総務費 18億2487万円

(地域公共交通確保対策事業、ケーブルテレビ事業特別会計への繰入金、移住定住促進事業 など)

◆教育費 12億7635万円

(馬頭中学校大規模改修工事、馬頭運動場屋外トイレ解体新築工事、学校教育や社会教育の振興 など)

令和5年度各会計歳入歳出決算の内訳

(単位：円)

会計名		歳入決算	歳出決算	歳入歳出差引額
一	一般会計	10,518,997,492	9,454,689,765	1,064,307,727
特別会計	ケーブルテレビ事業	1,388,382,798	1,371,260,627	17,122,171
	国民健康保険	1,996,256,687	1,945,884,149	50,372,538
	後期高齢者医療	241,802,919	233,357,382	8,445,537
	介護保険	2,240,720,861	2,057,673,791	183,047,070
	下水道事業	283,814,145	245,662,600	38,151,545
	農業集落排水事業	74,137,409	60,599,225	13,538,184
合計		16,744,112,311	15,369,127,539	1,374,984,772
水道事業		収入	支出	収入支出差引額
		収益的収入及び支出	343,771,334	68,256,642
		資本的収入及び支出	272,000,507	△126,220,507

決算審査の報告

9月18日(定例会4日目)には、大金清委員長より決算審査特別委員会に付託された令和5年度各会計決算の審査結果の報告がありました。

採決の結果は、全8会計のうち2会計が賛成多数、6会計が全員賛成により、原案のとおり認定されました。(採決状況はP5を参照) また、令和5年度決算における、決算審査特別委員会の付帯意見として6項目を報告しました。



決算審査の結果を報告する大金清委員長(議場)

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

小祝 邦之 氏 (再任)

法務大臣が委嘱する人権擁護委員について、引き続き、小祝邦之氏(小川)を推薦するものです。

◆教育委員会教育長の任命同意

(全員賛成 原案可決)

吉成 伸也 氏 (再任)

教育委員会教育長の任命について、引き続き、吉成伸也氏(馬頭)を任命するものです。

◆教育委員会委員の任命同意

(全員賛成 原案可決)

佐藤 寿 氏 (新任)

小幡絹代氏(松野)の任期満了(11月28日)に伴い、新たに佐藤寿氏(久那瀬)を任命するものです。

補正予算

◆一般会計補正予算(第3号)

(全員賛成 原案可決)

一般会計補正予算は、物価高騰対策として、住民税・所得税の定額減税に係る調整給付金の交付事

業や、水道基本料金の免除事業に係る費用など、2億1100万円を増額するもので、補正後の予算総額は、92億7900万円となりました。

質問 農業振興費で有機農業に対して補助した158万1000円の内容は。

答弁 有機農業に取り組む「有機農業チャレンジクラブ若あゆ」の経営に対する補助。

質問 これまでも有機農業に対する補助金はあったか。

答弁 以前から、環境保全型農業施設支払い交付金事業という補助制度がある。

質問 補助金の基準や要件は。

答弁 グループでの取り組みが対象で、生産している面積に応じて交付される。

財産の取得

◆財産の取得(追認)

(全員賛成 原案可決)

令和2年度と令和6年度における小学校の教師用教科書等の購入について、本来であれば議会の議

決が必要などころを、議決を経ずに購入していたことから追認して議決を得たものです。

令和2年度については、教科書530冊、指導書715セット、デジタル教科書39セットなどを購入したもので取得価格は1287万円。令和6年度については、教科書553冊、指導書722セット、デジタル教科書30セットなどを購入したもので取得価格は1676万円です。

請願

◆消防団第6分団第3部・第4部に係る消防車庫及び団員待機所(詰所)新設に関する請願

請願者

小川第5行政区長

橋本民夫氏(外3名)

請願の趣旨

小川第2、第3、第4、第5行政区を所掌する消防団第6分団第3部及び第4部の消防車庫について、小川市街地中心部の町有地に消防車庫並びに団員待機所(詰所)の新設を求めるもの。

審査経過

総務産業常任委員会へ審査付託
(高野泉委員長)



現地を確認する総務産業常任委員会の委員

審査日 9月5日

常任委員会審査結果

採択(全員賛成)

本会議結果

採択(全員賛成)

議員派遣

◆議員研修

(全員賛成 原案可決)

栃木県町村議会議長会議員研修

派遣場所 宇都宮市

派遣期間 11月19日

派遣議員 全議員

第6回 定例会議案採決(9月5日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容	議員名	神場	矢後	高野	福田	大金	川俣	益子	小川	鈴木	大金	川上	小川
		圭司	紀夫	泉	浩二	清	義雅	純恵	正典	繁	市美	要一	洋一
議案第1号 人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 那珂川町教育委員会教育長の任命同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 那珂川町教育委員会委員の任命同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 那珂川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 那珂川町税条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 那珂川町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 令和6年度那珂川町一般会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 令和6年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 令和6年度那珂川町水道事業会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 令和6年度那珂川町下水道事業会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 令和5年度那珂川町水道事業未処分利益剰余金の処分について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子明美議長は採決に加わりません。

第6回 定例会議案採決(9月18日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容	議員名	神場	矢後	高野	福田	大金	川俣	益子	小川	鈴木	大金	川上	小川
		圭司	紀夫	泉	浩二	清	義雅	純恵	正典	繁	市美	要一	洋一
認定第1号 令和5年度那珂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第2号 令和5年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号 令和5年度那珂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認定第4号 令和5年度那珂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号 令和5年度那珂川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号 令和5年度那珂川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号 令和5年度那珂川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号 令和5年度那珂川町水道事業決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号 議員の派遣について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 那珂川町消防団第6分団第3部・第4部に係る消防車庫及び団員待機所(詰所)新設に関する請願について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 財産の取得について(追認)	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 財産の取得について(追認)	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子明美議長は採決に加わりません。

一般質問！ 矢後紀夫 議員

- Q 子どもの貧困対策について
- Q 空き家バンクの運営について

町における子どもの貧困対策と位置づけは

(町長) 次期的那珂川町子ども・子育て支援プランで明記



矢後紀夫 議員

子どもの貧困対策

質問 子どもの貧困に対する町の考え方は。

答弁 町では、産前産後サポート事業や乳児家庭全戸訪問など、切れ目のない支援を実施し、経済的な困窮のおそれがある家庭の早期発見・早期支援に努めている。

今後は、次期那珂川町子ども・子育て支援プランの中で、子どもの貧困対策を明記して対応を検討していく。

質問 次期子ども・子育て支援プラン策定における子どもの貧困対策部分の進捗状況は。

答弁 ニーズ調査によるアンケートの集計作業を行っている。子ども・子育て会議の結果と計画の素案を示せるよう作業を進めている。

質問 経済的格差を与える学力格差を町はどう支援していくか。

答弁 家庭の経済状況と学力に関する調査データはない。学校教育においては、個々の状況に応じた学力向上施策に取り組んでいる。

質問 地域のボランティアが行なっている子ども食堂を町が運営する考えはあるか。

答弁 食事の支援が必要な家庭があることは認識している。来年度に設置予定のこども家庭センター事業の中で、配食サービスの実施なども検討していきたい。

空き家バンクの運営

質問 空き家バンクの登録物件数が少ない中で、物件数の増加を図るための周知活動を行っていく考えはあるか。

答弁 空き家バンクを周知するため、毎年4月に発行される固定資産税の納税通知書に案内チラシを同封している。今年度は、商業施設や役場を会場に空き家物件登録説明会を開催した。

質問 登録物件数を増やすため、町が自ら空き家情報を入力し、所有者に登録を促すなど、直接的なアプローチの手法を取り入れる考えはあるか。

答弁 町が積極的に物件を掘り起こして登録することは、不動産業の観点からも慎重に考える必要がある。



空き家バンクの周知を図る町職員

質問 空き家バンクの利便性を高めるため、相談窓口を道の駅に設置して土曜日や日曜日も対応できる体制を構築してはどうか。

答弁 道の駅に窓口を設けても、飛び込みで相談に来ることは考えにくい。

質問 空き家バンクの充実のため、営業力に長けた専任のコーディネーターを配置する考えがあるか。

答弁 空き家バンクに対する相談件数や登録件数を踏まえながら、専任のコーディネーターの必要性を検討していきたい。

一般質問！ 大金 清議員

- Q 義務教育における平和教育について
- Q 公共交通における新たな取組について
- Q マイナンバーカードの活用について

制度については活用の可能性を調査研究したい。

の運行間隔等について調査研究したい。

広島・長崎の平和記念式典に中学生の派遣を (教育長) 現在のところ限られた生徒の派遣は考えていない



大金 清 議員

義務教育における平和教育

質問 子どもたちへの平和教育に対する町の考え方は。

答弁 各学校において、各教科や特別活動など教育活動全体を通して行われており、今後も人権尊重の理念を重視して平和教育の推進に取り組んでいく。

質問 平和教育について、具体的にどのような指導をしているのか。
答弁 様々な情報を教材に取り入れ、直接的・間接的な教育ができるように配慮している。

質問 生徒に対して、平和や戦争についてのアンケート調査を実施したことがあるか。
答弁 アンケート調査については、内容も含め各学校と協議したい。

質問 広島の平和式典には、県内10市町から142名の中学生が派遣され、那須烏山市でも11名が派遣されているが、当町で派遣事業を実施する考えはあるか。
答弁 派遣していない市町の状況も踏まえて検討しているが、現時点では派遣は考えていない。

公共交通における新たな取組

質問 町民の移動手段として、路線バスやデマンド交通以外の新たな取組みは。

答弁 新たな公共交通機関の整備は考えていない。現在ある公共交通を補完し、利便性を向上させる



コミュニティバス (馬頭烏山線)

質問 公共交通の利便性や運行効率を高めるための対策は。
答弁 乗降データのほか町民を対象としたニーズ調査を定期的に実施しながら改善していきたい。

質問 デマンド交通で那須南病院に行けるよう調査研究する考えは。
答弁 現在は考えていないが、路線バスの乗り継ぎやデマンド交通

質問 国が推進している自治体ライドシェアを導入する考えは。
答弁 現時点では考えていないが、民間主体による日本版ライドシェアは状況に応じて対応していきたい。

マイナンバーカードの活用

質問 町独自の活用の考えは。
答弁 町のDXプランに基づき、町独自の効果的なマイナンバーカードの活用について調査研究を進める。

質問 マイナポイント事業を実施する考えは。
答弁 調査研究し検討したい。

質問 役場窓口での申請手続や公共施設等で活用する考えは。
答弁 今年度から役場窓口での申請手続を簡略化するため、マイナンバーカードを活用した窓口支援システムを導入する。

一般質問！ 小川正典 議員

- Q 町税の収納対策について
- Q 子育て関連施設の老朽化対策について
- Q 分譲宅地整備について

老朽化が進んでいるひばり認定こども園の改修計画は(町長) 令和7年度から屋根や外壁等の改修を計画的に行う



小川正典 議員

町税の収納対策

質問 令和5年度における町税の徴収率は97・3%で県内最下位であるが、徴収率が低い要因は。
答弁 固定資産税の徴収率が低いことが主な要因。固定資産税の徴収率は90・7%で、収入未済額の約8割は大口の滞納によるもの。
質問 令和6年度の徴収率の目標を94・2%としているが、目標値設定の考え方は。
答弁 大口滞納者を含め、現年度の徴収率を上げることが重点に目標値を設定した。

質問 町が取り組んでいる徴収率を上げるための施策は。
答弁 令和5年度からQRコードによる電子納付を開始した。また、督促状や催告書により納付を促すとともに、法令に基づき財産調査や差し押さえなどを行っている。

質問 徴収率アップの対策として、徴収事務を担当する専門部署を設置し専門家を登用する考えは。
答弁 専門部署は置かず、県の支援・助言を受けながら、職員一人ひとりが徴収の専門家であるという意識をもって徴収業務にあたる。

質問 令和5年度の差し押さえ件数は。
答弁 給与や預金、税の還付金など33件。総額は369万円。

子育て関連施設の老朽化対策

質問 老朽化した小川放課後児童クラブの改修や代替施設等の検討に係る進捗状況は。
答弁 小川小学校内の特別教室を活用することで教育委員会から了承を得た。現在は、学校と施設の使用手法や改修工事の内容を協議している。

質問 これまで小学校の使用は難しいとされていたが、活用に至った要因は。
答弁 教育委員会と小学校の協議で特別教室の使い方を検討し、1教室を使用できることとなった。

質問 使用方法の協議はいつまでに終了させるのか。
答弁 令和7年度に改修工事ができるように進める。工事終了後は速やかに学校内で運営する。

質問 わかあゆ認定こども園のウッドデッキが傷んでいる。腐食防止のための対策は。
答弁 園と相談して検討する。

分譲宅地整備

質問 8区画を予定している上宿分譲宅地の今後の整備方針は。
答弁 今年度は4区画を整備する計画で準備を進めている。

質問 町では令和7年度までに20区画を整備するとしているが、計画通りに進んでいないのでは。
答弁 売れ残りのリスクを考慮し、小分けにして分譲していく計画である。



小川地内の上宿分譲宅地

一般質問！ 神場圭司 議員

Q 児童、生徒の体力向上について
Q 中学校の部活動のあり方について

当町の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は

(教育長) 実技は全体的に各種目ともほぼ全国平均



神場圭司 議員

児童、生徒の体力向上

質問 スポーツ庁が令和5年度に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の当町の結果は。

答弁 実技に関する調査では、全体的に各種目ともほぼ全国平均となっている。

質問 スクールバスによるバス通学が始まる前後では、児童生徒の体力にどのような変化があったか。

答弁 スクールバスの導入により、体力面がどのように変化してきたかという調査は行っていない。

質問 教育委員会では、タグラグビーを取り入れた体力向上プランの見直しが必要だとしているが、具体的にどのような見直しがされたのか。

答弁 体力向上プランは、全国の調査結果をもとに見直しを図っている。タグラグビーについては、運動量もあり、男女の差があまりないことから全小学校で取り入れられている。

質問 オリンピックで話題になったスケートボード、ストリートバスケ、フットサル場などの環境整備を行うことにより、競技人口の増加が期待できると考えるが、町の考えは。

答弁 学校教育の中で都市型スポーツの環境を整えるには難しい面がある。運動の教育課程を編成する中で、学校での整備が必要だという要望があれば検討していく。



小学校での新体力テスト（反復横跳び）

質問 ハッピースローププランの中で、体力向上プランの策定が位置付けられているがその内容は。

答弁 体力向上部会を立ち上げ児童生徒の体力向上に向けた取り組みの充実を図っている。具体的には、小学校3年生から中学校3年生までの体育の授業時数を10時間増やすほか、体育主任を対象とした研修会を開催して授業研究等を行っている。

中学校の部活動のあり方

質問 中学校の部活動のあり方における検討委員会での検討状況は。

答弁 今年度は5月と7月に開催し、段階的に地域に移行するための体制整備を進めている。

質問 部活動のあり方が変わる場合、生徒の活動内容も変化すると考えるが家庭や地域に与える影響はどのようなものがあるか。

答弁 部活動の選択の幅が広がることや、教員以外の指導者から専門的な指導が受けられる一方で、保護者による送迎等の負担のほか、地域における指導者の人材確保が必要となる。

質問 指導者の確保について、スポーツ少年団の協力が不可欠となるが町の考えは。

答弁 当町として望ましい中学校部活動のあり方について検討を重ねるとともに、町内の関係団体とも連携を図りながら、部活動の地域移行を段階的に推進していく。

一般質問！ 益子純恵 議員

- Q 「こども誰でも通園制度」について
- Q こどもの遊び場の整備について
- Q 馬頭放課後児童クラブの駐車場について

公共施設との連動も含め複合的な子ども遊び場の整備を

(町長) 計画案で統廃合や複合施設などの案を示したい



益子純恵 議員

こども誰でも通園制度

質問 こども誰でも通園制度の実施に向け、子育て世代のニーズをどう反映させていくか。

答弁 Webアンケートの実施も考えられるが、他自治体の試行的事業や先進事例を参考に実態に即した制度となるよう取り組む。

質問 令和8年度からの本格実施に向けて、試行的事業に参加する考えはあるか。

答弁 現時点では、試行的事業への参加は考えていない。

こどもの遊び場の整備

質問 町内には、天候に関係なく安心して子どもを遊ばせられる場所がない。子どもの遊び場に対する町の考えは。

答弁 近年、夏場は異常な暑さが続いており、屋内型の子どもの遊び場について設置を検討する必要性を感じている。

質問 次期子ども・子育て支援プランに係るニーズ調査では、どのような要望があったか。

質問 こども誰でも通園制度のメリットも含め、町では町民に対して本制度をどのように周知しているのか。

答弁 町広報紙やホームページ、ケーブルテレビに加え、今年度から導入した「子育て支援アプリ」などを活用して周知を図っていき

馬頭放課後児童クラブの駐車場

質問 現在では使用されなくなった馬頭小学校のプールを解体し、校庭の一部を駐車場として利用する考えはあるか。

答弁 馬頭小学校プールの今後の方針については、教育委員会をはじめ関係各所と協議を進めていきたい。

答弁 自由意見の中で、「屋内外の遊具施設が欲しい」、「室内の遊び場を」などの意見があった。

質問 社会教育施設整備計画に、子どもの遊び場の整備を位置付ける考えは。

答弁 他市町の複合施設も参考に検討する。

質問 馬頭小学校の敷地の一部外側には水路が流れている。万が一の災害に備え優先的な解体整備を検討すべきと考えるが町の考えは。

答弁 馬頭小学校の東側に、馬頭放課後児童クラブのための駐車スペースを設けることは緊急時の対応においても望ましい。



馬頭小学校の校庭内にある放課後児童クラブ

一般質問！ 高野 泉 議員

Q 農業における後継者育成について
Q 消防団の充実について

消防団の充実に向けた町の対策は

(町長) 消防団の負担軽減と地域防災力維持のため団員確保に努める



高野 泉 議員

農業における後継者育成

質問 農業の後継者不足に対する町の考えは。

答弁 農業がこれからも継続できるように、行政として何が出来るか検討し、支援をしていく。

質問 農業の後継者育成として、町が実施している新規就農者への支援策は。

答弁 町では、JAなどと連携し、南那須地域新規就農者支援対策協議会を立ち上げ、就農に向けた農業体験会や就農相談会への参加を行っている。

この他に町独自の補助制度として、機械の導入経費に対する補助金などを交付している。

質問 農業の後継者育成のため、地域おこし協力隊制度を活用する考えは。

答弁 就農を見据えた協力隊制度の活用は、隊員の定住促進、農業確保の観点からも有効と考える。活用にあたっては、南那須アカデミーとの調整も含め、活用について調査研究していく。

質問 新規就農を考える上で、必要な農地の確保を町ではどのように捉えているか。

答弁 農地については、JAや農業委員会、生産農家らと連携し、新規就農希望者がスムーズに就農できるように相談に乗っている。

消防団の充実

質問 町では消防団員の確保に向けて、どのような対策を講じているか。

答弁 団員数は年々減少しており、人口減少をはじめ消防団に対する認識の変化が要因と考えられる。

また、消防団活動における拘束時間も課題に挙げられることから、団員の負担を軽減するとともに、防災力を損なわないよう団員確保につなげていく。

質問 消防団のPRに対する町の考えは。

答弁 町ホームページやケーブルテレビ、広報紙を活用し、消防団の活動についてPRを行っている。今後は、SNSやフリーパー等での周知も含め、効果的なPR方法を検討していく。



消防団通常点検の様子

質問 町では、消火活動を補完するための機能別消防団を導入しているが、訓練に機能別消防団を参加させるなど、活動条件や出動範囲を見直す考えは。

答弁 機能別消防団員は、消防団員の経験者で十分な知識、経験を持った方に入団していただいているため、訓練等は行っていない。

今後の活動状況を踏まえて消防団と連携した訓練等を検討していく。

一般質問！ 川俣義雅 議員

- Q 生ごみの資源化について
- Q 熱中症対策について
- Q 核兵器の廃絶について

生ごみ堆肥化事業、町営で継続を

(生活環境課長) コスト的に、町民の理解は難しいと考える



川俣義雅 議員

生ごみの資源化

質問 生ごみ収集が循環型社会の形成に重要な施策と考えるか。

答弁 重要な施策と認識している。

質問 生ごみ収集を市街地以外の集合住宅などに広げる考えは。

答弁 収集経路の違いなどで当初から考えていなかった。

質問 コンポストなどで堆肥化をしている世帯の割合は。

答弁 把握はしていない。

質問 コンポストについて、工夫した使い方などを紹介して普及拡大につなげる考えはあるか。

答弁 参考となるアイデアをいただければ活用していきたい。

質問 指定ごみ袋に「生ごみは原則、堆肥化をお願いします」と書かない理由は。

答弁 特段の理由はないが、他市町の例を参考に調査研究する。

質問 堆肥化事業継続のため、委託ではなく町直営とする考えは。

答弁 コスト的に、町民の理解は難しいと考える。

質問 事業継続について、町民アンケートを実施する考えは。

答弁 慎重に考えていきたい。

質問 循環型社会を目指し、町長を先頭に真剣に取り組む考えは。

答弁 先進事例があれば参考にしたい。



バケツ容器による生ごみの回収

熱中症対策

質問 熱中症で亡くなった方の多くはエアコンを使ってない。経済的理由でエアコンが設置できないことはあってはならないと考えるが。

答弁 そういう理由で命を落とすことは悲しい。

質問 町は「那珂よし涼み処」を開設したが、結局は自宅にエアコンが必要と考えるが。

答弁 効果的な対策で予防してもらいたい。

質問 奈良県生駒市では、エアコン購入に上限10万円の補助を出しているが、町でも補助を検討する考えはあるか。

答弁 県内では実施市町がないため調査研究する。

核兵器の廃絶

質問 旧庁舎にあった核廃絶の看板が新庁舎にないのはなぜか。

答弁 当時のことはわからない。

質問 核兵器廃絶に向けて具体的な行動を起こす考えは。

答弁 現在のところ考えていない。

質問 全校での取り組みを前提に、平和記念式典への中学生派遣を検討できないか。

答弁 現在のところ、中学生の派遣は考えていない。

滋賀県愛荘町議会(姉妹都市)など

県外議会の視察を受け入れ

— 議会の活性化・議会改革について意見交換 —

山形県白鷹町議会

9月19日に、山形県白鷹町議会の議員6名(議会運営委員会)が、視察のため那珂川町を訪れました。

視察では、那珂川町議会が取り組んでいる議会報告会や高校生との意見交換会のほか、子育て支援や有害鳥獣対策など、町の取り組みを視察しました。受け入れについては、正副議長のほか、議会改革特別委員会の正副委員長ら6名で対応しました。



有害鳥獣対策を視察(イノシシ肉加工施設)

長野県町村議会議長会

10月1日に、長野県内の町村議会の議長で構成される長野県町村議会議長会の役員7名が、視察のため那珂川町を訪れました。

視察では、那珂川町議会が導入しているタブレット端末の運用状況や町の子育て支援施策などを視察しました。受け入れについては、正副議長のほか、議会改革特別委員会の正副委員長ら6名で対応しました。



子育て支援施策を視察(エミナール那珂川)

滋賀県愛荘町議会

10月10日に、姉妹都市である滋賀県愛荘町議会の議員14名(全議員)が、視察のため那珂川町議会を訪れました。

視察では、那珂川町議会における議会基本条例の検証や議会報告会などの取り組みを視察しました。受け入れについては、正副議長をはじめ全議員で対応し、議会の活性化などについて愛荘町議会の議員と意見交換を行いました。



愛荘町議会との意見交換(役場会議室)

議会広報モニター からの「意見」感想

議会広報モニターさんから寄せられた議会だより76号(前号)に関するご意見・ご感想について一部を紹介します。

○「一般質問に関する」意見

各議員からの質問に対して町の取り組み状況が写真やグラフで具体的に示されているのは分かりやすくよい。
〔クーリングシエルトの目印〕や「役場に展示された雑紙の出し方」など)

○掲載内容に関する「意見

議会議員行政調査レポート
①「住みたい田舎」と同レポート②「8年間で765人が移住」についての視察報告内容は、よくまとまっております、今後町執行部へ共に協力しあって提言のうえ実現するようお願いしたい。

モニターの意見を取り入れながら出来上がってきた議会だよりは、徐々に見易くなりました。内容も分かり易く、興味を持てるようになりました。議員の熱量を感じられるページもあり、今後もより良い町づくりへ貢献していただけたらと思います。

○議会活動に関する「意見

以前より気になっていたのですが、視察先はどのように決めているのでしょうか。またこれまで視察先で知った見がどのように施策に活かしてきたのかも気になりました。
委員会より…

議員からの提案をもとに視察先を決めています。視察した内容については、町の施策に反映させるべく、要望書の提出や一般質問等で取り上げられています。
今後も粘り強く取り組んでいきます。

《常任委員会等の経過》

総務産業常任委員会

開催日 8月21日

産業振興課から、来年度に予定している鳥獣被害対策実施隊の設置について説明を受けたほか、常任委員会で取り組む勉強会の題材について協議を行いました。

開催日 9月5日

小川第5行政区長等から出された消防車庫新設に係る請願について現地確認を行ったほか、常任委員会行政視察や団体との意見交換などについて協議を行いました。

教育民生常任委員会

開催日 9月4日

健康福祉課から、現在進めているスマホアプリ等を活用した健康維持事業の概要について説明を受けたほか、常任委員会の行政視察や団体との意見交換などについて協議を行いました。

議会改革特別委員会

開催日 9月18日

第1小委員会並びに第2小委員会における進捗状況を確認しました。

開催日 10月25日

新潟県立大学国際地域学部准教授の田口一博先生を講師にお招きして、那珂川町議会における議会改革について研修を行いました。



議員全員による議会改革研修会（議会会議室）

ジュニアレスリング (小川小学校6年)

石川 真輝 さん
(小川)



なかちゃんが
聞きました。

Q レスリングを始めたきっかけは?

A レスリングで馬頭高校時代に関東大会に出場したこともある、お父さんの影響で自分もレスリングを始めたんだ。

Q 何歳の時からレスリングを始めたの?

A 3歳(年少)の時だよ。

Q レスリングの練習はどこでしているの?

A 1週間に4回は、茨城県大子町にある大子清流高校のレスリング場を借りて、中学生や社会人の人たちと一緒に練習しているよ。

Q どうして大子町まで練習に通っているの?

A 強い選手が集まる所で練習して、今よりもっと強くなるためだよ。

Q 今の階級を教える?
A 今までは55kg級に出場していたけど、次の大会からは、階級をひとつ上げることも考えているよ。



相手の足に果敢にタックル!!

Q レスリングの魅力は?

A レスリングの練習は本当に辛いけど、試合や大会に参加して仲間や友達が増えていくことかな。

Q 一番大変なことは?

A たくさん練習をしても、試合や大会で自分の思うような結果が出ないときは、やめたくなくなるときもあるよ。

Q レスリングをやっている良かったことは?



年上の選手と練習する石川さん

A 練習を頑張って、試合や大会で相手に勝ったときはすごく嬉しいし、レスリングをやっている良かったって思うよ。

Q 憧れている選手や目標としている選手はいる?

A アメリカのジョーダン・バローズ選手かな。アメリカの世界タイトル最多保持者で、特にタックルと投げ技が魅力的なんだ。

Q 今後の目標は?

A 来年1月に開催予定の、全国少年少女選抜選手権に出場して優勝することだよ。



リンクでの表情
は真剣そのもの。
これからの活躍を
期待しているよ。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。

あなたも傍聴してみませんか。

次の定例会は、**12月3日** 開会
(令和6年第7回議会定例会)の予定です。

議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第6回9月定例会の

議会傍聴者数

3日	12人
4日	6人
5日	0人
18日	5人

●表紙写真

高校生との意見交換会
10月29日に4回目となる馬頭高校生と議員との意見交換会を議場で行いました。

馬頭高校からは、生徒会役員の8名が参加し、「これからも住み続けたい那珂川町を一緒に語ろう」をテーマに熱く語り合いました。

編集後記

議会だより編集後記まで目を通していただき誠にありがとうございます。季節の変わり目いかがお過ごしでしょうか。寒くなり体調を崩さぬよう、美味しいものを食べ、良い運動、良い睡眠を取り入れて、人生を楽しみながら頑張ってください。さて、議会広報特別委員会、議会だよりに関わらせていただき2年が経ちました。専門用語等まだまだ分からない事だらけで、「あまり詳しくない自分に分かるように編集すれば」という意識で分かりやすい議会だよりを目指して編集に当たっています。編集にあたっては、委員会で表紙の写真、テーマを決め、そのテーマに基づき写真の取材に行き、レイアウトの構成など細かいところまで編集しています。議会広報特別委員会では、町村議会広報研修会にも参加して日々学んでおります。お堅いイメージの議会だよりですが、たくさんの方に読んでいただけるよう努力していきますので是非目を通して下さい。

議会広報特別委員会

副委員長 神場 圭司

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

